

ウンブリア州 Regione Umbria

[www.regioneumbria.eu](http://www.regioneumbria.eu)

州都：ペルージャ Perugia



【州概要】

イタリアの緑のハートとも呼ばれるこの州には小さいながらも見どころある歴史と芸術の街がたくさんあります。

州都ペルージャのすぐそばにある、聖フランチェスコゆかりの祈りと平和の街アッシジ Assisi には、世界遺産で聖人に

捧げられたサン・フランチェスコ大聖堂 (写真上) があり、内部はジョットなど中世の芸術家達が描いた見事なフレスコ画で飾られています。

その他にも、華麗なドゥオーモで有名なオルヴィエート (Orvieto) や、芸術祭が有名なスポレート (Spoleto)、ろうそく祭りなどの伝統行事で有名なグッビオ (Gubbio)、祭りが有名なフォルイーニョ (Foligno)、眺望と静謐の街トーディ (Todi) など、どこも中世の雰囲気漂っています。聖ヴァレンティーノを守護聖人とするテルニ (Terni) の街は、バレンタインデーの発祥の地ともいわれています。これらの町を結んだルートを日本では“中世・愛の小径”と呼び、親しまれています。

この州は伝統的な祭りも多く、5月にはアッシジのカレンディマッジョやグッビオのろうそく競争 Corsa dei Ceri や石弓競技 Palio di Balestra、6月にはオルヴィエートの聖体祭 Corpus Domini、9月にはフォルイーニョ Fogligno の馬上槍試合 Giostra della Quintana など有名な伝統行事が開催されます。



【主要観光地】

- ペルージャ Perugia <http://turismo.comune.perugia.it>

ペルージャは、エトルリア時代からの永い歴史を街の中に刻み、中世の家並みが続く丘の上の町。また各国の留学生が学ぶ外国人大学もある国際的な州の中心都市です。

11月4日広場 Piazza IV Novembre 周辺 (写真下) には13世紀の大噴水 Fontana Maggiore や大聖堂 Cattedrale、国立ウンブリア美術館のあるプリオーリ宮殿 Palazzo dei Priori、コレジオ・デル・カンピオ Collegio del Cambio などの歴史的建造物が立ち並んでいます。紀元前8世紀から前2世紀にイタリア中部に栄えた古代文明エトルリアの12の同盟都市のひとつで、現在も街の周囲をめぐる城壁や城門 Arco Etrusco にエトルリア時代の見事な建築を見ることができます。街の規模は小さく、徒歩で観光ができますが、坂が多いため短い距離も意外に苦勞することも。しかし2000年以上前の歴史の跡を残しながら現在の顔をものぞかせるこの街の“歴史散歩”はとても楽しいものです。



ヨーロッパでも有名なジャズ・フェスティバル、ウンブリア・ジャズ ([www.umbriajazz.com/](http://www.umbriajazz.com/)) が開かれることでも有名。特に夏は、ペルージャの街全体がジャズ一色となります。

**アクセス:** 列車でローマからフォルイーニョ乗り換えで2時間半~3時間。フィレンツェからテロントラ乗り換えで2時間半(直通もあり) 駅からバスで15分程。各都市からバスの便もあります。

## ● アッシジ Assisi



スバシオ山の斜面に立つ丘の上の中世都市。聖フランチェスコゆかりの地として知られ、静謐さの漂う祈りの街です。アッシジの春を飾る祭りカレンディマツジョ **Calendimaggio**(写真左)では華やかな中世絵巻物が再現されます。

アッシジの見所は、世界遺産にも登録されているサン・フランチェスコ大聖堂 **Basilica di San Francesco** をはじめとする聖人ゆかりの教会。同聖堂内にはジョットによる28枚の壁画「聖フランチェスコの生涯」や、チマブーエ「聖母と天使と聖フランチェスコ」、ロレンツェッティの「夕日の聖母」などの名画を鑑賞できます。他にもサンタ・キアラ教会 **Chiesa di Santa Chiara**、サン・ダミアーノ修道院 **Convento di San Damiano** サンタ・マリア・デッリ・アンジェリ教会 **Basilica di Santa Maria degli Angeli** などが挙げられます。

アッシジ地図ダウンロードサイト：[www.comune.assisi.pg.it/turismo/mappa-assisi/](http://www.comune.assisi.pg.it/turismo/mappa-assisi/)

**アクセス:** 列車でローマからフォルイーニョ乗り換え2時間~2時間半。フィレンツェからテロントラ乗り換えで2時間。ペルージャから20分。駅から市内まではバスで5km。

## ● グッピオ Gubbio [www.comune.gubbio.pg.it/](http://www.comune.gubbio.pg.it/)

中世の面影を漂わせる街で、ろうそく競争 **Corsa dei ceri** (毎年5月15日) や石弓競技 **Palio della Balestra** (毎年5月の最終日曜日) などの伝統行事、そしてクリスマスシーズンに、グッピオ郊外のイノジーノ山を彩る、クリスマスツリーをかたどったイルミネーションで有名。観光客の目を楽しませてくれます。旧市街は中世の雰囲気を残し、執政官宮殿 **Palazzo dei Consoli** などの建物があり、城壁の外には古代遺跡のローマ劇場なども残っています。



▲© IN GUBBIO

## ● オルヴィエート Orvieto [www.orvietoturismo.it/](http://www.orvietoturismo.it/)

まるで島が浮き出たような岩の丘という天然の要塞のような立地がドラマチックな街。街は中世の雰囲気が漂い、イタリアゴシック建築の代表的建築のひとつで壮麗なファサードを持つドゥオーモ **Duomo** (写真右) は堂々とした美しさ。他にも博物館となっているソリアーノ宮 **Palazzo Soliano**、ポポロ宮、サン・パトリッツォの井戸 **Pozzo di San Patrizio** などがみどころです。そして、オルヴィエートでは名産の白ワインもぜひご賞味下さい。

また古代遺跡に興味ある方は、エトルリアの墳墓ネクロポリも訪ねてみましょう。



● **スポレート Spoleto**

古代ローマ時代や中世の遺産が残り、毎年初夏に世界的に有名な芸術祭「2つの世界のフェスティバル」[www.festivaldispoleto.com](http://www.festivaldispoleto.com) が開催されます。街の見所は、ローマ劇場 Teatro Romano、芸術祭の閉幕コンサートも開催される 12 世紀奉獻の大聖堂 Duomo、また緑の中に 14 世紀につくられたトッリ橋 Ponte delle Torri(写真右▶)もよい眺めが楽しめます。



● **スペッコ Spello** <http://turismo.comune.spello.pg.it> (イタリア語のみ)

とても小さな中世の面影を残した街。キリスト聖体祭の行事のひとつ、花祭りでは、道路に色とりどりの花びらを敷き詰め、見事な花の絨毯を作ります。



● **テルニ Terni** [www.marmore.it/](http://www.marmore.it/)

バレンタインデーの起源ともいえる聖人ヴァレンティーノゆかりの街。愛の守護聖人を訪ね、多くの人を訪れます。またもう一つの特徴として挙げられるのが、豊かな自然。テルニはウンブリアの南に位置し、豊かな持ちと泉、田園に恵まれています。ヨーロッパで最も美しいと言われるマルモレの滝(写真左)は、ウンブリア州を緑のハートと言わしめる程のテルニの自然の代表とも言えます。



● **トーディ Todi** [www.comune.todi.pg.it/fap/](http://www.comune.todi.pg.it/fap/)

詩人ヤコポーネの\*生地トーディは歴史ある古い町。  
\*フランチェスコ会修道士で、宗教詩で知られる中世の詩人

【ウンブリア州の世界遺産】

● **世界遺産《アッシジ：聖フランチェスコ聖堂と関連遺跡群》**

**Assisi, la Basilica di San Francesco e altri siti Francescani**

所在地： アッシジ(ウンブリア州) ローマの北東 177km。ペルージャの南東 23km

登録年： 2000

アッシジは聖フランチェスコゆかりのキリスト教信者の巡礼地。荘厳なる聖フランチェスコ聖堂内部を飾る巨匠ジオット、チマブーエ、マルティナーニ、ロレンツェッティらのフレスコ画の数々は中世美術史上でも重要なものです。古代ローマ時代からの歴史あるこの街は、ウンブリアの美しい自然と、聖人が説いた平和の教え、そして後世の建築・美術の基礎ともなった宗教建築物群とが一体化した精神的、芸術的な美しさを秘めた場所です。



ユネスコサイト：<http://whc.unesco.org/en/list/990>



## ● 世界遺産《イタリアのロンゴバルド族：権威の軌跡(568～774年)》

### I Longobardi in Italia I luoghi del potere (568-774 dC)

登録年： 2011

ロンゴバルド王国（イタリア語の音訳。ランゴバルド王国ともいわれる）は、568年ゲルマン系ロンゴバルド族により建国され6～8世紀にイタリア半島を広く統治し独特の文化を発展させた後、774年カール大帝により滅ぼされました。そのロンゴバルド王国の重要な権勢の足跡を示す7地域の要塞、教会、修道院などの建物が2011年に世界遺産として登録されました。ロンゴバルド族の建築スタイルは総じて古代から中世ヨーロッパへの変遷を示すもので、古代ローマの伝統、キリスト教的精神性、ビザンチン文化の影響そしてゲルマン系北欧様式を生かしています。

登録された7グループの文化財・史跡はそれぞれ、典型的なロンゴバルド文化の重要な特徴を備えており、イタリア国内でも特に保存状態が良いものとして厳選されたもので、総体として最盛期ロンゴバルド文化の全容を映し出しています。つまりスカンジナビアから北東ヨーロッパを経由してイタリアに定住した後の、ロンゴバルド族の芸術的・建築的遺産の真髄を、これらの文化財史跡を通して知ることができるのです。ロンゴバルド族はイタリアに定住すると、古代ローマの伝統様式やキリスト教の精神性、ビザンチン文化の影響などを吸収、同化し自らのゲルマン的価値とを融合させ、7世紀末から8世紀にかけて新しい独自の文化を生み出したのです。

ユネスコサイト：<http://whc.unesco.org/en/list/1318> (英語)

[http://www.italialangobardorum.it/download/documenti/27611\\_Comunicato%20stampa\\_MiBAC\\_Longobardi\\_2\\_AMF.pdf](http://www.italialangobardorum.it/download/documenti/27611_Comunicato%20stampa_MiBAC_Longobardi_2_AMF.pdf) (伊語)

\*\*ユネスコ世界遺産に登録された7グループのうち、ウンブリア州にあるのは2箇所：

#### ①クリトゥノ Clitunno の『クリトゥノのテンピエット il Tempietto del Clitunno』

所在地：カンペッロ・スル・クリトゥノ（ウンブリア州）ペルージャの南西 53km スポレートの北 11km  
小さな建物ながら、その古典的な様式と戦利品の品々が建物内に多用されていることで有名です。ルネッサンス期以降も建築的に不朽の名声を何世紀に渡り保っていました。

#### ②スポレート Spoleto の『サン・サルヴァトーレ聖堂 Basilica di S.Salvatore』

\*所在地：スポレート Spoleto（ウンブリア州）ペルージャ南東 63km

ロンゴバルド建築の代表例のひとつで、古典的ローマ様式を踏襲し、外部、内部ともに中世の石工達による優れた建築的装飾細工が施されています。

---

### 【ウンブリア州の交通情報】

・SULGA [www.sulga.it/](http://www.sulga.it/) (英語可)

ウンブリア州を中心とした近隣の州への中・長距離バス

・SENA 社 [www.sena.it](http://www.sena.it) (英語可) ウンブリア州とトスカーナ州をつなぐ中距離バス会社。